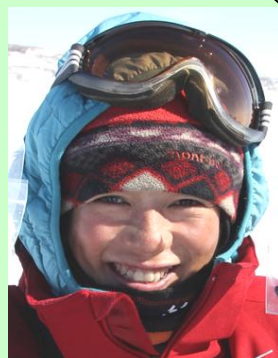


「地球誕生の謎を追った」 越冬女性記者の話

南極観測隊に女性記者として初めて同行された、朝日新聞社の中山由美記者を迎え越冬体験から“地球を見つめて”の特別講演



中山 由美 記者

～未来の子供たちにこの美しい地球を引き継いでいくために～

地球温暖化対策と聞くと何やら難しい問題と思いませんか。
未来の子供たちのために…と言われても。「何から始めたらよいか分からない…私ひとりでは…」という方が多いのではないのでしょうか。
この解決策は、今の私たちの生活スタイルを見直すことから始まります。
流山市は新しいエコライフのまちを目指しています。

日時 **6月12日(土)** 13:30～16:00

会場 **江戸川大学 サテライトセンター**
(流山おおたかの森駅 徒歩1分)

- 講演
- ◎ 「極寒での暮らしから地球環境を見つめて」
講師：中山 由美 (朝日新聞社記者)
 - ◎ 「流山の熱環境調査と低炭素まちづくり」
講師：伊藤 勝 (江戸川大学教授)
 - ◎ 「ながれやま20⇒20(にこにこ)プラン」の取り組み
講師：宇仁菅 伸介 (流山市環境部長)

定員 一般 100名 (申込み先着順)

申込・問合せ先 **流山市環境政策課「市民環境講座係」宛**
電話かFaxでお申込みください。

講師プロフィール、会場案内、申込用紙は裏面

主催 **流山市 環境政策課**

Tel: 04-7150-6083

Fax: 04-7150-2862

後援 千葉県地球温暖化防止活動推進センター

～この事業は流山市が「温暖化防止ながれやま」へ委託しています～

【講師プロフィール】

中山 由美 氏 (なかやま ゆみ)

千葉県生まれ。1993年朝日新聞入社。青森、つくば両支局、外報部、社会部を経て、現在、科学医療グループ、環境担当・南極専門記者。外報部時代、9・11同時多発テロ実行犯の生涯を追った長期連載「テロリストの軌跡」を担当した一人で、ドイツや中東を取材。2002年度の新聞協会賞を受賞。2003年11月から1年4ヶ月間、第45次南極観測隊に女性記者として初めて同行して越冬。昭和基地から1000キロ離れた内陸へ雪上車で1カ月かけて遠征し、標高3810m零下60度のドームふじ基地で暮らした。グリーンランド氷床やヒマラヤ氷河も取材し、極地から地球環境を見つめる。バングラデシュの環境、無人島でのアホウドリ取材など、世界各地を歩いてきた。第51次観測隊で南極を再訪し、隕石探査や地質調査を取材、講演やイベントで活躍中。著書に「テロリストの軌跡」「こちら南極 ただいまマイナス60度」「南極ってどんなところ？」など。

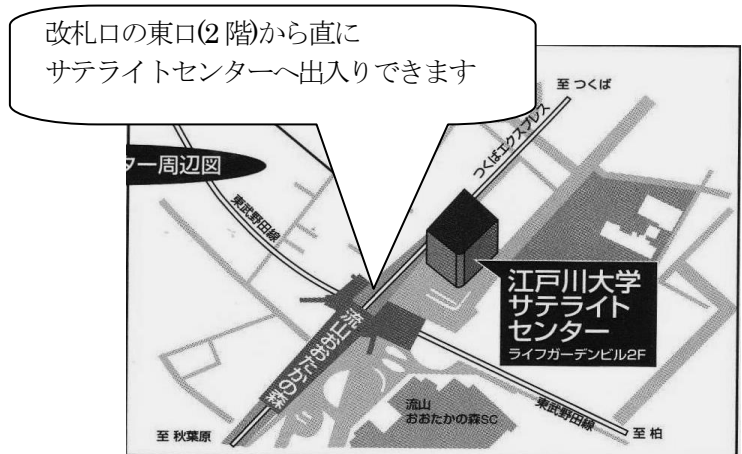
伊藤 勝 氏 (いとう まさる)

江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授。専門部門は廃棄物・リサイクル論、防災関係論の研究者として活躍されている。東京工業大学工学部卒業後、政策科学研究所などの研究機関で調査研究を長く続けてきた。土地利用計画の考案策定に「生きもの指標の開発」で環境賞を受賞。また、我が国のエネルギー構造のライフサイクル・アセスメントの先駆け研究者。現在、流山の熱環境や低炭素まちづくりなど調査研究にご尽力いただいている。

【会場案内】

江戸川大学 サテライトセンター

- 〒270-0114 流山市東初石 6-183-1
ライフガーデンおおたかの森 2階
Tel : 04-7156-7715
- つくばエクスプレス線、東武野田線
流山おおたかの森駅下車、徒歩1分。
- 車は控えて、公共交通機関をご利用ください。



……第2回市民環境講座 6月12日開催……

申込み方法 : 電話またはファックスで、下記までお申込みください (受付先着順)

申込み先 : 流山市役所環境政策課「市民環境講座係り」宛 〒270-0192 流山市平和台1-1-1
電話 : 04-7150-6083 Fax : 04-7150-2862 kankyouhozen@city.nagareyama.chiba.jp

申込み年月日 平成22年 月 日

お名前	ふりがな		人数	人
ご住所	〒			
連絡先	電話番号	Fax 番号		

お問い合わせ 流山市役所環境政策課 電話 : 04-7150-6083 Fax : 04-7150-2862